

掛合小学校 校報 ましみず

〈第11号〉
平成23年3月発行

皆様方のご理解とご協力、ありがとうございました！！

今、平成22年度の教育活動が終了しようとしています。私は、今年度掛合小学校に着任しましたが、素直で元気で、何でもがんばる子どもたち、きれいでぬくもりのある素敵な校舎に囲まれ、楽しい毎日を過ごすことができました。

ときには、子ども同士のトラブルや保護者の方からのご指摘等により、気を遣ったり、頭を使ったり…また、猛暑や大雪という自然災害もありました。しかし今、子どもたちが元気で、無事に卒業・進級できることは、素直にうれしく思います。

これもひとえに、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力があったからだと思います。本当にありがとうございました。今後も、家庭・地域・学校が一体となって、子どもたちを支えていただきますよう、重ねてよろしくお願いいたします。

「卒業、おめでとう！！」

今年度、学校を支えてくれた6年生32名が卒業します。5月の陸上大会から始まって、相撲大会、運動会、掛合太鼓、バスケット大会、学習発表会など、校内・校外にわたって、本当によくがんばりました。また、低学年のお手本になったり、学校全体を動かす原動力となったりして、掛合小学校が暮らしやすい学校になるよう工夫してくれました。

6年生が離れていくのはさびしいですが、これから先には、それぞれ、たくさんの夢や希望があるので、それに向かって大きく羽ばたいていってくれることを祈っています。

「卒業、おめでとう！！ そして、ありがとう！！」

(締切の都合上、卒業式前に記事を編集していますので、ご理解のほどよろしくお願いします。)



6年生を送る会……3日には、5年生が中心となって、6年生を送る会を行いました。各学年からの出し物のほか、ゲーム、思い出のスライドショー（写真）など、いろいろな催しがありました。最後には、6年生が、6年間を振り返った寸劇をしてくれました。悲しいムードの送る会になるのかなとも思いましたが、掛合の子どもらしく、大笑いをして楽しく過ごしました。心温まる大変素晴らしい送る会となりました。

鍋給食の実施……お世話になった人に感謝の気持ちを表し、6年生にとって最後の親睦を深めるために、鍋給食を実施しました。グループごとに作った鍋は、最高の思い出になったことと思います。私たち教職員もごちそうになりました。なお、食材・調理の指導等については、給食センターの方にお世話になりました。お忙しい中、大変ありがとうございました。



ほほえみタイムスペシャル……今年度最後のほほえみタイム（本の読み聞かせ）に、わくわくお話し隊の方に来ていただきました。この日は、1～3年生を対象に、「ピノキオ」をアレンジしたお話を聞かせていただきました。

お話し隊の方々の迫力ある台詞や歌、動きに、子どもたちは大喜び。また、お話を通して、家族の大切さも学ぶことができました。このような機会を設けていただいたことに大感謝です。ありがとうございました。



校訓の取り付け……待望の校訓の取り付けが終わりました。ここに至るまで、皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、無事にすべての作業を終えることができ、安心しました。

今後はこの校訓にあるような「かしこい子・げんきな子・やさしい子」を目指して、子どもたちを育てていきたいと思っております。ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。学校に来られたら、ぜひご覧ください。

ふるまい向上プロジェクト……今年度、ふるまい向上プロジェクトに取り組んでまいりました。校内では、あいさつ・返事・はきものそろえ・ろうかの歩行など、月ごとに目標を決めて指導をしました。指導の効果はあったものの、子どもたちのことですので、またもとに戻ってしまうこともありました。しかしながら、地道に指導していくことが大切です。23年度も引き続き、掛合全体で、大きく言えば日本全体で、ふるまいを向上させていきたいと思っております。

ベルギー・オランダで生活して学んだこと……<その5・「わさお」も りっぱな家族！>

ベルギー・オランダで街を歩いていると、いろいろな種類の犬をたくさん見かけます。日本ではあまり見かけない犬もいて、犬好きにはたまりません。でも、犬小屋を見たことがありません。

では、どこで飼われているのでしょうか？ご想像の通り、家の中です。犬は大切な家族の一員なのです。買い物のときも、旅行のときもいっしょです。犬が入ることのできないお店では、ご主人が用を済ませるのを、おりこうにしてじっと待っています。（ほえません。）旅行のときは、普通のホテルにいっしょに泊まることができます。（大きさにもよりますが、宿泊料金は人間の3分の1～4分の1程度です。）散歩の際に、人間が犬に引っ張られて走るような姿は見ません。ご主人の横を寄り添いながら、（紐なしでも）上手に歩いています。私がオランダで生活したときには、犬を2匹、日本から連れて行きました。2匹にとっては天国のような環境だったに違いありません。その中で、無理やり「犬の学校」に入学させましたが、「何でいまさらこんなことするの？」という感じで、特に母犬にとっては、犬の学校は、苦痛だったようです。

ヨーロッパの絵画には、よく犬が描かれています。長い歴史の中で、人間と犬の関係ができてきたと思いますが、家族の一員として大切にされていることは、絵画からもわかります。今“動物セラピー”という言葉も広がってきていますが、犬は、心を癒してくれる存在なのでしょう。

少なくなったものの、路上の犬の糞にはご用心！ 私もよく踏んだ経験あり！！（山根 毅）



本校では、ホームページを開設しています。日々のお子さんの様子を更新していますので、ご覧いただければ幸いです。アドレスは下記のとおりですが、「掛合小学校」でも検索できます。

www.city.unnan.shimane.jp/kakeya-sho/